

目次

□巻頭言 青函トンネルと機械化施工……………松尾昭吾/1
 筑後大堰施工計画……………西原恒雄/3
 青函トンネルにおける先進ボーリングと
 水平ボーリングマシンの概要……………櫻澤憲一/8
 アーストンネルの新しい施工法の開発と実績
 —プレライニングサポート工法……………佐々木宏二/15
 東京電力今市発電所工事における
 油圧さく岩機による長孔発破……………大塚昌彦
 石田義昭/24

グラビヤ——本州四国連絡橋大鳴門橋主塔工事

大鳴門橋主塔工事の施工……………田中淳之/31
 □随想 熟年のスポーツ(サッカーOBインターハイ)
 ………………石川正夫/40
 粉体噴射攪拌工法による地盤改良実験の概要……………稲葉稔
 中内正陽/42
 国際単位系(SI)の紹介……………東秀彦/47

□'81 建設機械の現状

4. せん孔機械およびトンネル掘進機
 4.1 せん孔機械
 4.1.1 さく岩機その他……………五十嵐伊三郎/51
 4.1.2 ボーリングマシン……………五十嵐伊三郎/53
 4.2 トンネル掘進機
 4.2.1 全断面掘削機械……………大田宏/54
 4.2.2 自由断面掘削機械……………酒井喜久雄/58
 4.2.3 NATM工法用機械……………五十嵐伊三郎/60
 5. 骨材生産機械……………塚原重美/62
 6. コンクリート機械
 6.1 コンクリートプラント……………成田英一/69
 6.2 トラックミキサ……………勝守滋夫/71
 6.3 コンクリートポンプ、ポンプ車……………木村隆/73

□新機種ニュース……………調査部会/75

□文献調査

土工における掘削、敷きならし抵抗を
 予測するための模型実験……………文献調査委員会/79

□整備技術

オペの教育—重点は予防保全……………整備技術部会/83

□支部便り

「除雪に関する講習会」を開催……………中国支部/86

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
 ………………調査部会/87

行事一覧……………/88

編集後記……………(飯田・岡崎)/90

◀表紙写真説明▶

TCM 除雪ドーザ 180 S と
 TCM ロータリ除雪車 R 400
 東洋運搬機株式会社

180 S は荷役装置がすべて油圧で操作できる
 18 t 級除雪ドーザである。ブレードの上昇高さは
 1 m と大きく、深雪の上段押し出しができ、ま
 たサイドスライド量は左 1 m、右 30 cm と大き
 く、雪堤の段切り、歩道から車道へ、あるいは
 歩道外側への排雪作業ができる。

R 400 は 200 馬力級と同等の小回りのできる
 400 馬力級ロータリ除雪車である。全幅除雪、
 拡幅除雪、積込除雪が可能なツーステージ型ロ
 ータリを備え、高速自動車道から府県市道に至
 る幅広い除雪作業ができる。

◀主な仕様▶
 180 S

運転整備重量……………	18,300 kg
除雪幅(アングリング時)……………	3,450 mm
定格出力(ターボ付)……………	200 PS

R 400

運転整備重量……………	18,160 kg
最大除雪量……………	3,000 t/hr
除雪幅……………	2,600 mm
定格出力……………	360 PS